

2020年11月8日(日)朝10:10  
11月第2共同主日礼拝式説教

降誕前第7、役員会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：**岩の上の教会・天の国の鍵**(18、19～)

聖書:マタイ 16章18～20節

<口語訳>

新約聖書26～ 頁

マタイ 16章18～20節

<新共同訳>

新約聖書32～ 頁

マタイ 16章18～20節

<新改訳第3版>

新約聖書32～33頁

マタイ 16章18～20節

<塚本訳>

新約聖書117～ 頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ **マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇ **マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇ 本日は**マタイ16:18～20節**の箇所から、「**神(天)の国**」(「**神の真理・真実**」)の隠された奥義を心にとめたいと思います。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、弟子ペテロに、「わたしの教会を建てよう」と、語って下さいました。
- ⇒「**わたしの教会**」と、仰せになったのは、教会堂ではなく、「**あなたは生ける神の子キリストです(16～)**」と、告白した弟子たちの群れのことです。
- ⇒「**わたしの教会**」とは、人間のものではなく、**神のもの・「御子イエス・キリスト様」**のものだということです。
- ⇒その土台は、「**御子イエス・キリスト様**」で、弟子たちは、それぞれの賜物に応じて組み合わせられ、建て上げられていくのです。

本論；

◇本日、**マタイ書16:18～20節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ16章18～20節**；**使徒マタイ**は、「**岩の上の教会・天の国の鍵**(18、19～)」との主のみことばを通して、「**神(天)の国**」の隠されている「**神の真理・真実**」を示しています。

◇**16:18～20節**；**塚本訳**◆**ペテロの告白**

「18 それでわたしもあなたに言おう。——あなたはペテロ[岩]、わたしはこの岩の上に、わたしの集会を建てる。黄泉の門[死の力]もこれに勝つことはできない。

19 わたしはあなたに天の国の鍵をあずける。(だから)あなたが地上で結ぶことは(そのまま)天でも結ばれ、地上で解くことは(そのまま)天でも解かれるであろう。」

20 それからイエスは、自分が救世主であることをだれにも言ってはならないと、弟子たちを戒められた。と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**マタイ16:18～20節**では、「**御子イエス・キリスト様**」が、「それですわたしもあなたに言

おう。——あなたはペテロ[岩]、わたしはこの岩の上に、わたしの集会を建てる。黄泉の門[死の力]もこれに勝つことはできない(18)。「わたしはあなたに天の国の鍵をあずける。(だから)あなたが地上で結ぶことは(そのまま)天でも結ばれ、地上で解くことは(そのまま)天でも解かれるであろう(19)」と、仰せになり、弟子たちに驚くべき約束を下されたのです。

⇒さらに、「それからイエスは、自分が救世主であることをだれにも言ってはならないと、弟子たちを戒められた」です。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、今が大事な時だということを弟子たちに教えて下さった。それは、エルサレムから、**ユダヤ人指導者・パリサイ人やサドカイ人**らが、ご自身の殺害に動いていたからです。主は、死を恐れておられたのではなく、弟子たちに大事な使信を伝えておきたかったからです。

⇒大事な使信は、「**神(天)の国**」(「**神の真理・真実**」)が既に来ており、**神・「御子イエス・キリスト様**」と共にいることでした。

⇒マルチン・ルターは、紋章を持っていましたが、中央に黒の十字架、その周りの青い空色、白の4葉のユリ、赤い淵と丸い金色に包むものでした。

⇒それは、十字架による罪の赦しと平和、黄金に象徴される輝きの主との信仰と生活でした。

⇒Ⅱテモテ4:7~8;【口語訳】

7 わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。

8 今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には、公平な審判者である主が、それを授けて下さるであろう。わたしばかりではなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下さるであろう。

⇒天の国の鍵を託されているがゆえ、地上の生活が、「**御子イエス・キリスト様**」の思いで、満たされていることが、大事になります。

⇒告白は、讃美でもあります。死に向かっていることは、確実ですが、復活の主が、「**聖霊**」において、平安へと導かれます。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日は**マタイ16:18～20節**の箇所から、「**神(天)の国**」「**神の真理・真実**」の隠された奥義を心にとめたいと思います。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、弟子ペテロに、「わたしの教会を建てよう」と、語って下さいました。
- ⇒「**わたしの教会**」と、仰せになったのは、教会堂ではなく、「**あなたは生ける神の子キリストです(16～)**」と、告白した弟子たちの群れ。
- ⇒「**わたしの教会**」とは、人間のものではなく、**神のもの・「御子イエス・キリスト様」**のものだということです。
- ⇒その土台は、「**御子イエス・キリスト様**」で、弟子たちは、それぞれの賜物に応じて組み合わせられ、建て上げられていくのです。

⇒【口語訳】イザヤ書42:1～3;

- 1 わたしの支持するわがしもべ、わたしの喜ぶわが選び人を見よ。わたしはわが霊を彼に与えた。彼はもろもろの国びとに道をしめす。
  - 2 彼は叫ぶことなく、声をあげることなく、その声をちまたに聞えさせず、
  - 3 また傷ついた葦を折ることなく、ほのぐらい灯心を消すことなく、真実をもって道をしめす。
- ⇒主は、傷んだ手足を持って、一人一人の手を握り、足と歩みを支えて下さいます。迷ったり、思い煩ったりせず、生活したい。